

2023年12月04日
株式会社トーン・アップ

＜初開催＞大阪府堺市の公立小学校で映像制作の プロ集団による体験型出前授業「映像のお仕事」を実施

「ボクはカメラマン！」 「ワタシはディレクター！」
企画～制作～打ち上げまで実際の仕事を疑似体験

一般社団法人 日本動画制作協会 幹事会社で、映像制作・広告制作等を手掛ける株式会社トーン・アップ(東京本社：東京都中央区、代表取締役：富田 和伸、以下 トーン・アップ)は、体験型出前授業「映像のお仕事」を、堺市立家原寺小学校の6年生を対象に、2023年11月9日(木)、11月21日(火)に実施しました。

「映像のお仕事」は、子どもたちがプロの映像制作の世界にふれることで、仕事としての魅力や社会的な意義を知る機会となることを目的とするものです。堺市立家原寺小学校では、「総合的な学習の時間」のキャリア教育の一つに位置付け、この出前授業を実施しました。



楽しみながら授業に参加する子供たち。

【授業の概要】

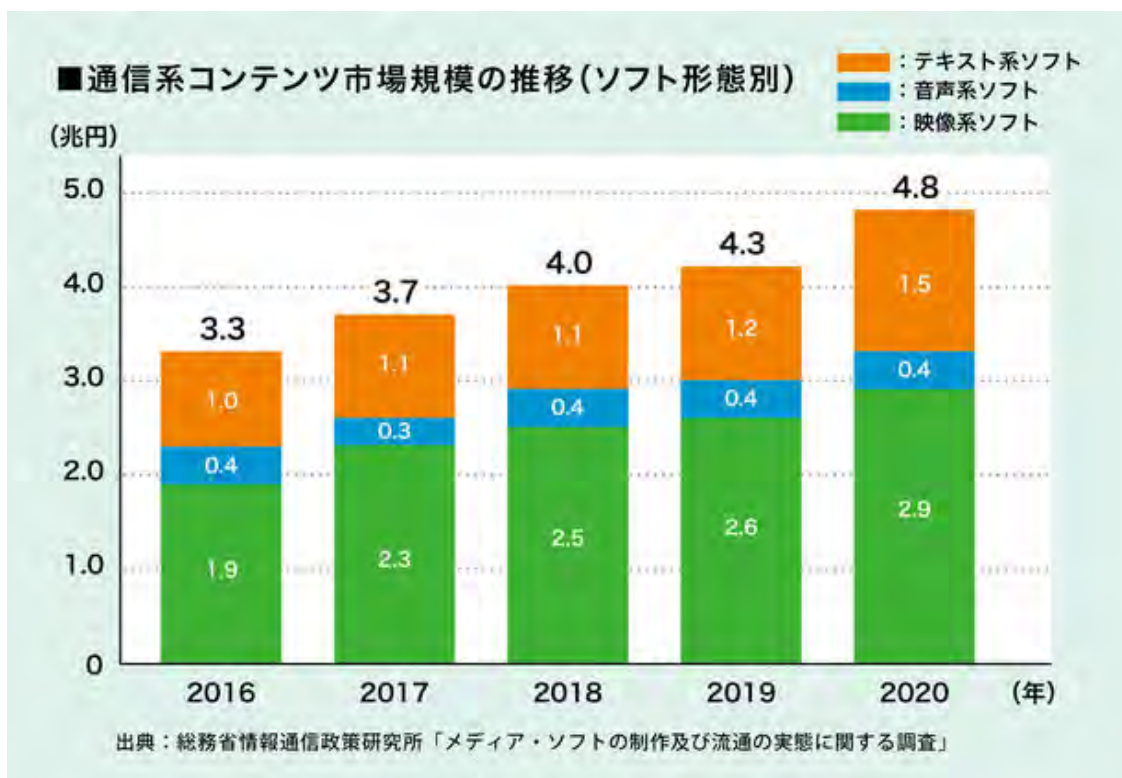
授業では、まず、映像が果たす社会的な役割や、映像制作に関わる人とお金について学びます。そして、校長先生をクライアント、子供たちのチームを映像制作会社に位置付け、映像の企画から制作までを体験します。講師として、プロのカメラマンやエディター、ヘアメイ

クアーティストが参加。実際の現場で使用されているカメラや編集機材を使い、制作の現場をリアルに、楽しく、擬似体験します。また、授業の振り返り会に「打ち上げ」を模すなど、多様なコミュニケーションの在り方や、仕事としての楽しさにもふれ、動画を作ることだけに留まらず、子供たちがさまざまな視点から映像の仕事へ興味を持ち、理解を深めることができる授業としました。

【この出前授業に関する社会的背景】

いま、情報通信や表現分野における映像の役割は、ますます重要になっています。インターネットなどを経由する通信系コンテンツでは、映像系ソフトの市場規模が年々拡大を続けています(※1)。また、「小学生がなりたい職業」に「ユーチューバー」が3年連続1位(※2)に選ばれたり、「最もしてみたい習い事」に「動画制作」が1位に選ばれた調査(※2)からは、映像を視聴するだけでなく、自分でも作ってみたいという子供たちが増えていることがうかがえます。このような時代背景のもとで、デジタルサービスやSNSにとくに深く接している現代の子供たちが、映像制作に関する知識や理解を深めることは重要であり、日本の映像制作業界の未来にも貢献するものといえます。

トーン・アップでは、映像制作現場の第一線で活躍する豊富な人材と、動画スクール「TU-MS(トゥムス)」(※3)の提供・運営で培った教育ノウハウを有しています。これらのリソースを活用することで、映像制作をテーマにした、クオリティの高い出前授業の提供が可能になりました。



※1 資料

Q：将来やってみたい仕事は何ですか
(択一)

小学生がなりたい職業 ランキング	
1位	YouTuber (1374票)
2位	漫画家・イラストレーター アニメーター (1167票)
3位	芸能人 (924票)
4位	ゲームクリエイター プログラマー (667票)
5位	パティシエ パティシエール (607票)

出典：株式会社ベネッセコーポレーション「進研ゼミ小学講座」
<小学生 13,000人に聞きました! 2022年 総決算
ランキング>

Q：現在している習い事以外に、最もして
みたい習い事は何ですか(単一回答)

小学生がしてみたい習い事 ランキング	
1位	動画制作 (8.3%)
2位	ダンス (7.6%)
3位	プログラミング (7.4%)
4位	サッカー・フットサル (5.3%)
5位	ピアノ・エレクトーン (4.6%)

出典：株式会社ベネッセコーポレーション
「小学生の習い事調査」2021年

※2資料

(※3)TU-MS(トゥムス)：トーン・アップが提供する、企業向け動画担当者養成講座
<https://tu-ms.com/lp/>

【実施内容】

■第1回授業<セミナー形式> 11月9日 13:45~15:20

「映像に関わる仕事、人、お金を大公開! 子供たちの知らない世界に興味津々!」

<前半：映像講座>

まず「映像って何?」という問いかけから授業がスタート。映像の幅広いジャンルや役割、映像がビジネスになるしくみ、映像制作に関わるさまざまな人々の役割などを学びます。クイズ形式の解説や、トーン・アップが制作したCMを放映し、みんなが楽しみながら理解を深めました。



クイズや映像を交え、楽しみながら理解を深める授業。

<後半：ミニワークショップ>

子供たちが5つの班に分かれ、それぞれの班で映像制作会社を設立。会社名と企業ロゴも作成し、リアルな映像制作の世界に導きます。さらに、校長先生がクライアント役になり、映像制作が依頼されます。テーマは「家原寺小学校をPRするCM」。子供たちは企画を検討し、必要な映像を次の授業までに撮影することになりました。



子供たちが5つの映像制作会社を立ち上げ、リアルな制作の世界へ。

■第2回授業<ワークショップ形式> 11月21日 9:35~12:45

「ボクはカメラマン！ワタシはディレクター！鑑賞会や楽しい打ち上げまで！」

各班が撮影素材を持ち寄り、いよいよCMを完成させます。体育館に設置された撮影ブースでは、プロのディレクターとカメラマンのサポートで撮影を体験。編集ブースでは、子供たちがディレクターになり、プロのエディター3名とCMを編集。ヘアメイクブースでは、ヘアメイクアーティストによるヘアメイク講座を開催。このように、実際の仕事を疑似体験しながら作品を完成させ、全員で鑑賞しました。最後は、ジュースとお菓子で「打ち上げ」を開催。仕事をやり遂げた達成感や喜びを仲間と分かち合い、多様なコミュニケーションの大切さも学びます。各社のロゴが入った名刺が子どもたちにプレゼントされ、名刺交換も体験しました。



モニターを確認しながら、プロの機材で撮影を体験。



女子だけでなく男子も興味津々。大人気のヘアメイクブース。



完成したCMは、どれも想いのこもった力作。みんなで鑑賞会を開催。

【参加された生徒様や教職員様の感想】

授業は大変な盛り上がりを見せ、参加した子供たちから以下のようなお声をいただきました。

- 「思ったより楽しくて、ちょっと映像の仕事を目指してみたいなと思いました」
- 「ディレクターや撮影、ヘアメイクなど、色々な映像の仕事が学べて楽しかったです」
- 「映像の仕事にはたくさんの人が関わっていて、びっくりしました」

教職員の皆様からは、以下のようなお声をいただきました。

- 「百聞は一見にしかずと言いますが、今回の出前授業は10回見るより1度自分で経験することに勝るものはないと感じました」
- 「映像の仕事のすごさや面白さ、奥深さも感じたのではないかと思います」

【この出前授業を通じたトーン・アップの想い】

トーン・アップは、1919年の創業から100年以上にわたり日本の広告ビジネスに携わってきました。企業理念に『Visualize Value 人が喜ぶ「もの・こと・とき」を創造し伝える』を掲げ、これまでに培った技術と経験をもとに、新たな価値の創造に挑戦しています。また、一般社団法人 日本動画制作協会の幹事会社でもあり、このような映像分野の出前授業が、映像をより身近に感じ、興味を持っていただくきっかけになり、将来的な映像制作業界の底上げにもつながるように願っています。

また、当社ではSDGsに全社を挙げて取り組み、ESG経営を推進していますが、新たな学びの場を提供することは、SDGsを推進するうえでも意義のあることと考えています。

トーン・アップでは、学校教育の現場の皆様のご要望によって、このような出前授業を今後も提供していきます。

■会社概要

商号 : 株式会社トーン・アップ

代表者 : 代表取締役 富田 和伸

所在地 : [東京本社] 東京都中央区銀座7-13-20

設立 : [創業] 1919年5月・[株式会社設立] 1961年6月

事業内容 : 広告製版、印刷・大判出力、各種デザイン制作 映像制作、
レタッチ制作、3DCG制作、ノベルティ作成

資本金 : 4,800万円

URL : <http://www.toneup.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社トーン・アップ 出前授業担当窓口

井上 真規男

TEL : 06-6486-9631
